

AISIN

株主のみなさまへ

第83期 中間事業報告書

平成17年4月1日から平成17年9月30日まで



アイシン精機株式会社

■ 創立40周年を節目に、企業ロゴを改定

AISIN

旧企業ロゴ


AISIN
Geared up for the future

新企業ロゴ+ステートメントロゴ

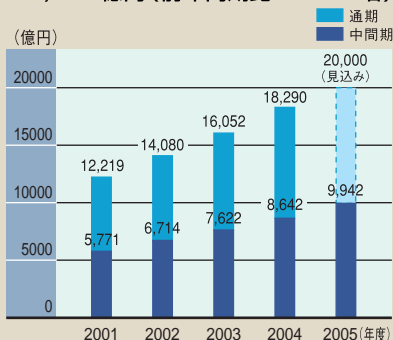
アイシン精機は、創立40周年記念事業の一環として、2005年9月1日より企業ロゴ・コーポレートカラーなどのCIS(コーポレート・アイデンティフィケーション・システム)を改定しました。

これまでのCISは、創立15周年の1980年に制定以来、四半世紀が経過しました。今回、創立40周年を節目に、時代に即した新たな企業イメージづくりとして、CISを改定しました。新しい企業ロゴはデザイン性を持たせ、AISINの「A」に窓を設けて、広い視野と開かれた心を併せ持つアイシンの存在を主張しつつ、先進性と獨創性を表現しました。また、企業ロゴにあわせたステートメントロゴを今回新たに設けました。ステートメントロゴは、グローバル化を視野に英文の「Geared up for the future」とし、「未来を見つめ、時代を動かす」という思いを込めて、人と車と社会の明日へ、前向きに挑戦していく意志を示しました。当社は、装いも新たにワールドワイドサプライヤーとしてのより一層の成長と飛躍をめざしていきます。

財務ハイライト

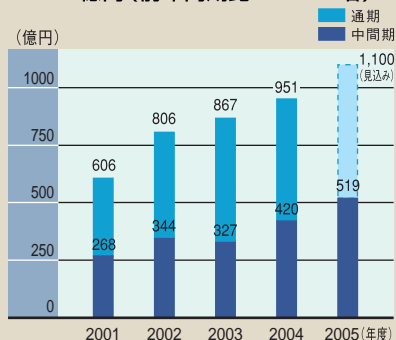
■ 売上高

9,942億円(前年同期比 15.0%増)



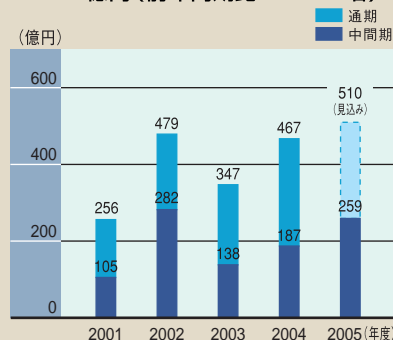
■ 営業利益

519億円(前年同期比 23.4%増)



■ 中間(当期)純利益

259億円(前年同期比 38.7%増)



見通しに関する注意事項：この事業報告書に記載されている当社および当社グループ各社の現在の計画、見通し、戦略等は、現在入手可能な情報に基づく見込みであり、実際の業績はこれらの業績予測とは異なる可能性があります。従って投資判断に際しましては、これらの計画、見通し等に全面的に依拠することはお控えくださいますようお願いいたします。

株主のみなさまへ



取締役会長

豊田幹司郎

取締役社長

山内康仁

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当社第83期中間事業報告書をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

当中間期(平成17年4月1日から平成17年9月30日まで)の売上高は9,942億円と前年同期に比べ15.0%の増収となりました。利益面では、経常利益は前年同期に比べ25.1%増の553億円となりました。中間(当期)純利益は、前年同期に比べ38.7%増の259億円となりました。

中間配当金につきましては、1株につき13円とし、支払開始日を11月25日とさせていただきます。鋼材や原油の動向、さらには不安定な為替動向や価格競争の激化など、足もとの経営環境は不透明さを増しています。このようななかで、当企業グループは総力を結集し、世界のメジャープレーヤーとして成長

をめざしていきます。そのため、「環境」や「安全」、「快適」などの分野での技術開発を積極的に行い、魅力ある商品の市場投入を加速していきます。また、北米、中国、欧州などでの生産体制のさらなる拡充によりグローバルな供給ネットワークを確立し、売上拡大および新たな得意先の開拓をはかるとともに、グローバル展開に対応した計画的な人材育成を推進していきます。さらに、社会から信頼される企業として、環境取り組みプランに基づく環境保全活動の推進や、地域に密着した企業市民活動、公正で透明性の高い企業行動を絶えず心掛け、社会との調和ある成長と社業のますますの発展に努めてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、引き続き変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年11月

事業活動

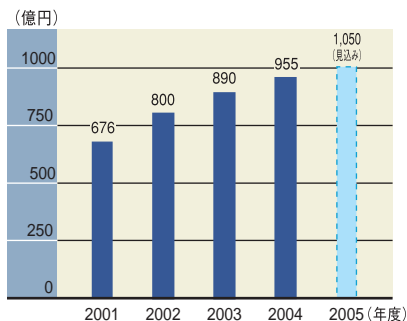
ユーザーニーズに即した商品開発力で多彩な事業を展開しています。

多様化するユーザーニーズに的確に応え信頼を獲得するため、グループ各社が得意分野を活かした技術開発体制で、魅力ある商品の創出に積極的に取り組んでいます。

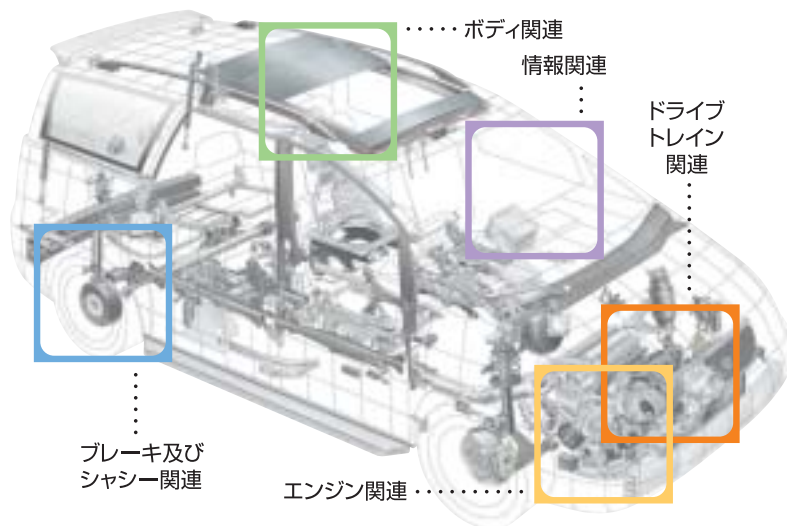
■ 研究開発費の推移

技術開発競争は一段と熾烈さを増しており、高い水準での技術開発投資が不可欠となっています。

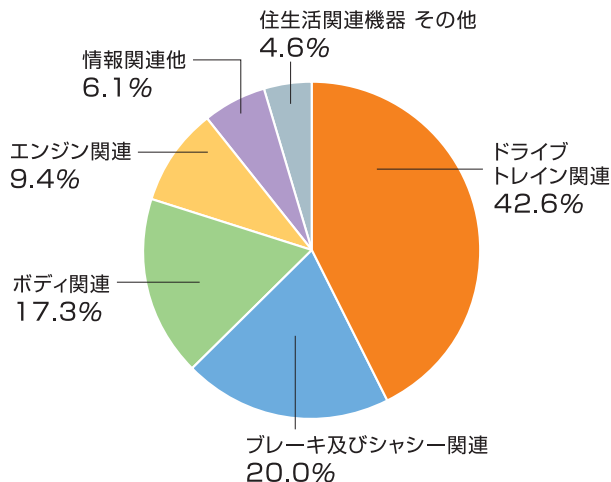
一時的な環境変化や業績に左右されることなく、常に将来を見据えた技術開発に力を入れていくことを基本姿勢に、今後も積極的な投資をはかり、新しい商品をいち早く世に送り出すことで、みなさまのニーズに応えていきたいと考えています。



■ 自動車関連製品



■ 事業別売上高比率 (2005年度中間期)



※粗形材関連の売上高は各々の自動車関連分野に含まれています。

事業分野	主要製品	事業概要
ドライブトレイン 関連	<ul style="list-style-type: none"> ● オートマチックトランスミッション (AT) ● マニュアルトランスミッション (MT) ● オートメテッド マニュアルトランスミッション ● 無段変速機 (CVT) ● クラッチディスク・カバー 	<p>売上の4割を占める主力事業であり、軽自動車から小型・中型トラックおよびバス、産業車両用まで業界一の品揃えを誇る。ATは専門メーカーとして世界No.1のシェアを継続。</p>
ブレーキ及び シャシー関連	<ul style="list-style-type: none"> ● ドラムブレーキ ● ディスクブレーキ ● ブレーキマスターシリンダー ● アンチロック ブレーキ システム (ABS) ● エレクトロニック スタビリティ コントロール (ESC) ● エアサスペンションシステム 	<p>事故を起こしにくく、危険回避をしやすいクルマづくりのために、先進の技術を駆使し、「止まる」・「曲がる」・「走る」を融合した高性能で高品質なシステム商品を開発。</p>
ボディ関連	<ul style="list-style-type: none"> ● ドアロック ● パワースライドドアシステム ● パワーバックドアシステム ● サンルーフ ● パワーシート ● 体重検知センサー ● ドアフレーム 	<p>快適性・利便性・安全性など機能性の追求はもとより、デザイン性向上や軽量化に取り組み、お客様のカーライフの充実に貢献する商品を他社に先駆けて提供。</p>
エンジン関連	<ul style="list-style-type: none"> ● ウォーターポンプ ● オイルポンプ ● ピストン ● インテークマニホールド ● エキゾーストマニホールド ● 可変バルブタイミング機構 (VVT) 	<p>エンジンまわりの機能部品や鋳造部品を幅広く手がけており、エンジントータルの視点で、軽量化・排出ガスのクリーン化・省燃費に貢献できる技術開発を推進。</p>
情報関連他	<ul style="list-style-type: none"> ● カーナビゲーションシステム ● 駐車アシストシステム ● レーン逸脱報知システム ● フロント&サイドモニターシステム ● インテリジェント パーキング アシストシステム 	<p>カーナビゲーションシステムや画像処理技術を活かした駐車支援システムなど、安全・快適なカーライフをサポートする商品を開発。カーナビゲーションは日本はもとよりグローバル市場での拡販活動により世界シェアNo.1を誇る。</p>
粗形材関連	<ul style="list-style-type: none"> ● プレス製品 ● アルミダイキャスト製品 ● 鋳鉄製品 ● 樹脂成形品 	<p>グループ各社がさまざまな分野の粗形材技術を有している強みを活かし、新技術・新工法開発に積極的に取り組むとともに、各商品の競争力向上やグループ全体での付加価値の向上をはかっている。</p>
住生活関連機器 その他	<ul style="list-style-type: none"> ● ベッド ● ミシン ● シャワートイレ ● ガスヒートポンプエアコン (GHP) ● ガスエンジン コージェネレーションシステム ● 住宅リフォーム ● 電動車いす ● 介護ベッド 	<p>省エネルギー化や健康・快適な暮らしに対するニーズの高まりに応えた商品を積極的に開発。また、新しい価値の創造をめざし、フェムト秒ファイバーレーザーやバイオ関連機器など新たなビジネス分野も拡大中。</p>

事業別の概況

ドライブトレイン関連

オートマチックトランスミッション(AT)・マニュアルトランスミッション(MT)の拡販により、好調に推移

2005年度中間期売上高は4,239億円(前年同期比18.8%増)となりました。これはアイシン・エイ・ダブリュの6速AT、アイシン・エーアイの6速MTなどの販売が好調に推移したことによるものです。

New 高容量前輪駆動車用(FF)6速MT(BG6)



新開発の3軸タイプギヤトレイン構造により、高容量FF6速MTで軽量・コンパクト化を達成
《搭載車種》
 トヨタ「アベンシス」、「カローラ」
 マツダ「Mazda6」、「Mazda5」
 三菱「エクリプス」、「グランディス」
アイシン・エーアイ

拡販 中容量前輪駆動車用(FF)6速AT(TF-60SN)



燃費・動力性能に優れた軽量・コンパクトな世界初のFF6速AT
《搭載車種》
 ●VW「パサート」、「ジェッタ」
アイシン・エイ・ダブリュ

拡販 中容量後輪駆動車用6速AT(TB-61SN)



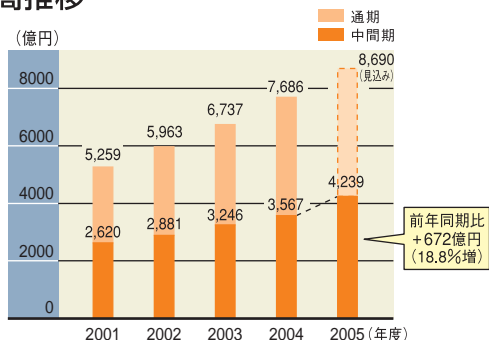
新ギヤトレインの採用により小型化を実現
《搭載車種》
 ●レクサス「GS」
アイシン・エイ・ダブリュ

拡販 高容量後輪駆動車用6速MT(AY6)



新ギヤトレインの採用によりギヤ幅を低減し、軽量・コンパクト化を実現
《搭載車種》
 ●レクサス「IS」
アイシン・エーアイ

売上高推移



拡販 電動オイルポンプ



モーター制御装置、モーター、ポンプ一体型により小型・軽量化を実現
《搭載車種》
 ●レクサス「RX ハイブリッド(海外)」
 ●トヨタ「ヴィッツ」
アイシン精機

ブレーキ及びシャシー関連

システム商品の販売が好調に推移

2005年度中間期売上高は1,991億円(前年同期比10.2%増)となりました。これは、アドヴィックスのブレーキシステム、ならびにブレーキコンポーネントの販売が国内外で好調に推移したことによるものです。

New 電動アクティブスタビライザーシステム **世界初**



旋回時の車の傾きを制御し、車両姿勢の安定化と操縦安定性を向上

《搭載車種》

●レクサス「GS」

アイシン精機

(トヨタ自動車(株)と共同開発)

拡販 ブレーキシステム

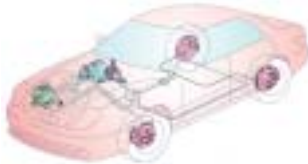
車両の特性に応じた最適なブレーキシステムを実現

《搭載車種》

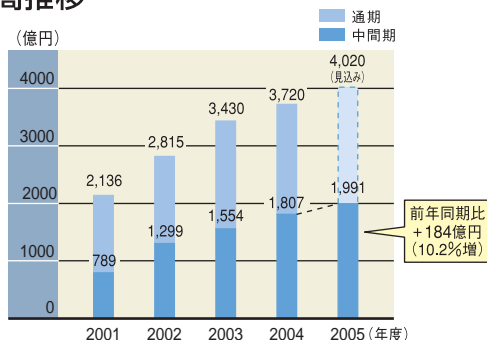
●レクサス「GS」、「IS」

●GM「ハマー3」

アドヴィックス



売上高推移



ボディ関連

車の利便性、快適性を高める製品を市場投入

2005年度中間期売上高は1,721億円(前年同期比12.5%増)となりました。これは、アイシン精機のパワースライドドアシステムや体重検知センサーなどの販売が好調に推移したことによるものです。

New 電動格納シート ミニバンなどのシートをボタンひとつで床下に格納し、広い収納スペースを確保



《搭載車種》

●トヨタ「シエナ(北米)」

アイシン精機

(トヨタ自動車(株)、トヨタ紡織(株)、シロキ工業(株)と共同開発)

拡販 パワースライドドアシステム

スライドドア内部に駆動ユニットを内蔵し、広い車室空間を確保

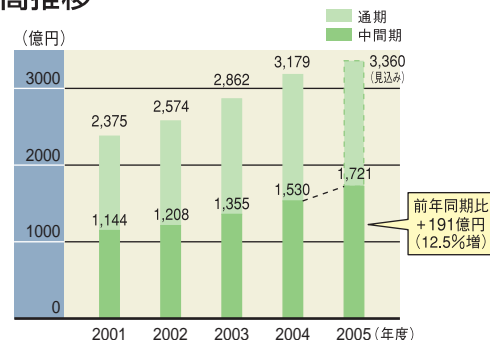
《搭載車種》

●スズキ「エブリイワゴン」

アイシン精機



売上高推移



事業別の概況

エンジン関連

国内外での増産に伴い、売上が好調

2005年度中間期売上高は933億円（前年同期比10.6%増）となりました。これは、アイシン精機のエンジンフロントモジュール等のアルミ部品、ならびにアイシン高丘のタイ拠点などの販売拡大によるものです。

エンジンフロントモジュール



エンジン前まわりの部品を集約し、軽量化・低コスト化を実現

アイシン精機

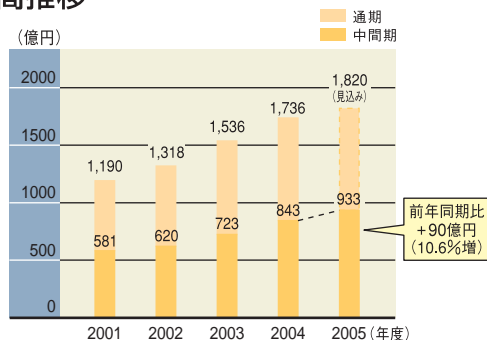
シリンダーヘッドカバー



各種エンジンに最適なシリンダーヘッドカバーを設計・提供

アイシン精機

売上高推移



情報関連他

カーナビゲーションシステムの販売拡大

2005年度中間期売上高は600億円（前年同期比20.9%増）となりました。これは、アイシン・エイ・ダブリュのカーナビゲーションシステムやアイシン精機の駐車アシストシステムの販売が好調に推移したことによるものです。

New トヨタ純正日本向けプレミアム2デッキボイスナビゲーションシステム
目的地までのルート情報をマップメモリー機能で記録することにより、DVDビデオ再生とナビの同時利用が可能



《新モデル納入先》

●トヨタ「全車種」

アイシン・エイ・ダブリュ

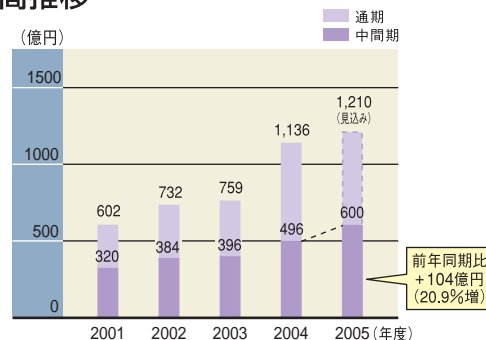


駐車アシストシステム

車両後部の映像と進路予測線を表示し、後退時のドライバーを支援

アイシン精機

売上高推移



■ 粗形材関連

新工法・新素材の開発と要素技術の強化

粗形材関連分野においては、製品の機能・性能・強度を確保しつつ、小型・軽量化や低コスト化を実現していくことが求められており、アイシンは、さまざまな分野の粗形材技術を有している強みを活かし、材質置換や新工法・新材料など、新たな技術導入に積極的に取り組んでいます。

主に、アイシン高丘が鋳鉄製品、アイシン化工が樹脂成形・化成品、アイシン軽金属がアルミダイキャスト製品、そしてアイシン精機がプレス部品とアルミダイキャスト製品を担当しています。

【拡販】 ダイクエンチ工法軽量バンパーリール
フォースメント



超高強度化工法により、バンパーの軽量化とデザイン性を向上

《搭載車種》

● マツダ「ロードスター」 **アイシン高丘**



高性能塗布型制振材
高い制振効果を発揮し、
車両重量の軽減に貢献

アイシン化工

* 売上高については各々の自動車関連分野に含まれています。

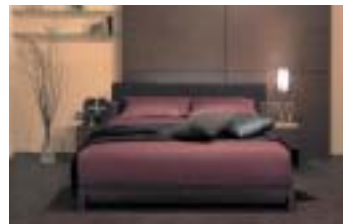
■ 住生活関連機器 その他

国内外でGHPの売上が拡大

2005年度中間期売上高は457億円(前年同期比14.9%増)となりました。これは、ガスヒートポンプエアコン(GHP)などの拡販によるものです。

住生活関連機器 その他では、ベッド、シャワートイレ、ミシン、介護・福祉機器、リフォームサービスなどを取り扱っています。また、環境に優しい商品の実用化をめざし、次世代エネルギー機器として、燃料電池を使った家庭用コージェネレーションシステムなどの開発にも積極的に取り組んでいます。

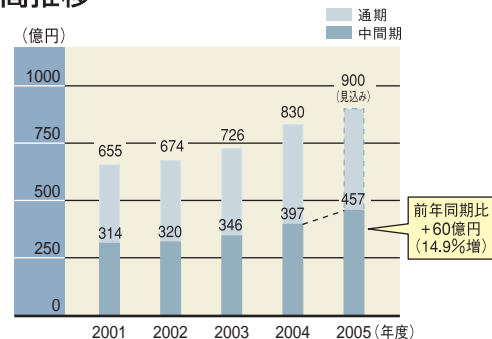
New フィオレット 「FIORETTO 001」



牛本革やオーク材を
贅沢に用いた高級感と
実用性を兼ね備えた
最高級シリーズのベッド
2005年度
「グッドデザイン賞」受賞

アイシン精機

■ 売上高推移



連結決算

中間連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	当中間期 (平17.4.1~17.9.30)	前年中間期 (平16.4.1~16.9.30)
売上高	994,240	864,285
売上原価	858,923	742,811
販売費及び一般管理費	83,366	79,381
営業利益	51,950	42,091
営業外収益	8,996	8,850
営業外費用	5,562	6,688
経常利益	55,383	44,253
特別損失	—	△2,798
税金等調整前中間(当期)純利益	55,383	41,455
法人税、住民税及び事業税	17,470	12,063
法人税等調整額	2,119	4,851
少数株主利益	△9,848	5,835
中間(当期)純利益	25,944	18,704

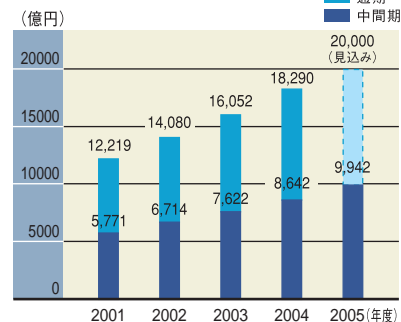
売上高

主要得意先の自動車生産台数の増加により、トランスミッション、パワースライドドア、ナビゲーション、体重検知センサーなどが、大きく売上を伸ばしました。前年中間期に比べ15.0%増加しました。

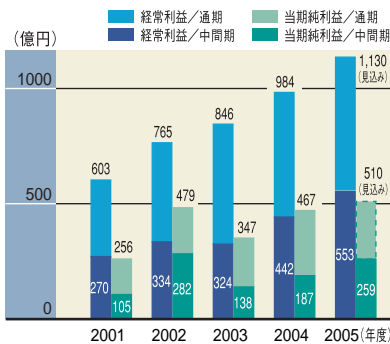
経常利益

原油の高騰などがありましたが、売上の増加に加え、原価低減・工程の改善など経営全般にわたる合理化・効率化活動に取り組んだ結果、前年中間期に比べ25.1%増加しました。

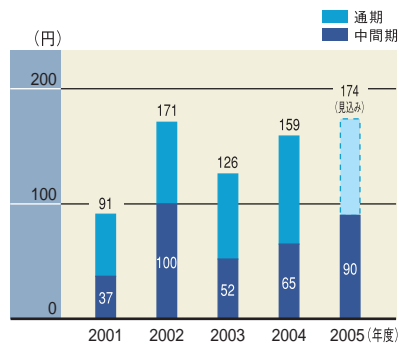
売上高



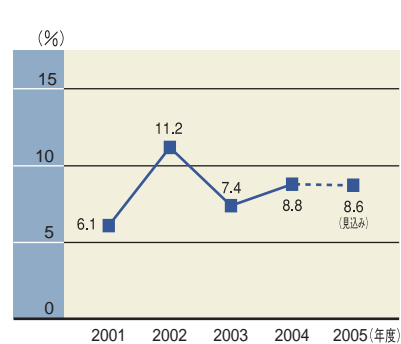
経常利益/当期純利益



1株あたり当期純利益



株主資本利益率 (ROE)



■ 中間連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科 目	当中間期 (平17.9.30現在)	前 期 (平17.3.31現在)	科 目	当中間期 (平17.9.30現在)	前 期 (平17.3.31現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	617,743	601,881	流動負債	544,188	531,611
現金及び預金	78,405	90,287	支払手形及び買掛金	286,105	262,654
受取手形及び売掛金	307,372	287,955	短期借入金	48,873	58,778
有価証券	31,134	34,109	その他	209,209	210,178
たな卸資産	136,457	122,460	固定負債	312,433	273,256
その他	65,284	67,758	社債	25,650	25,650
貸倒引当金	△ 912	△ 690	● 長期借入金	158,343	129,767
固定資産	1,000,725	901,432	繰延税金負債	43,830	26,457
● 有形固定資産	679,594	627,216	退職給付引当金	82,185	81,965
建物及び構築物	193,578	177,666	長期未払金	2,366	9,415
機械装置及び運搬具	332,613	297,317	その他	57	—
その他	153,402	152,231	負債計	856,622	804,867
無形固定資産	9,109	8,466	(少数株主持分)		
投資その他の資産	312,021	265,749	少数株主持分	155,229	145,693
● 投資有価証券	262,532	215,952	(資本の部)		
長期貸付金	4,498	4,245	資本金	45,049	45,049
繰延税金資産	21,621	22,031	資本剰余金	63,245	63,061
その他	25,056	24,147	利益剰余金	413,784	392,836
貸倒引当金	△ 1,687	△ 627	その他有価証券評価差額金	92,288	66,597
			為替換算調整勘定	△ 5,832	△ 11,674
			自己株式	△ 1,919	△ 3,116
			資本計	606,616	552,752
合 計	1,618,468	1,503,313	合 計	1,618,468	1,503,313

投資有価証券

保有株式などの株価上昇により有価証券の評価益が445億円増加しました。

有形固定資産

グローバルな生産・供給ネットワークを確立するため、国内外の生産能力の拡大など、積極的な設備投資をした結果、有形固定資産は、523億円増加しました。

長期借入金

拡大する国内外での設備資金や海外事業運営基盤の強化などに充当するため、金融機関から長期借入金を調達し、285億円の増加となりました。

連結決算

■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	当中間期 (平17.4.1~17.9.30)	前年中間期 (平16.4.1~16.9.30)
Ⅰ. 営業活動によるキャッシュ・フロー	60,778	59,034
Ⅱ. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 89,316	△ 80,838
Ⅲ. 財務活動によるキャッシュ・フロー	12,520	17,848
Ⅳ. 現金及び現金同等物に係る換算差額	1,998	270
V. 現金及び現金同等物の増減額	△ 14,017	△ 3,685
Ⅵ. 現金及び現金同等物の期首残高	116,401	126,214
Ⅶ. 現金及び現金同等物の中間(期末)残高	102,383	122,528

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

・中間純利益	+553億円
・減価償却費	+576億円
・その他	△522億円

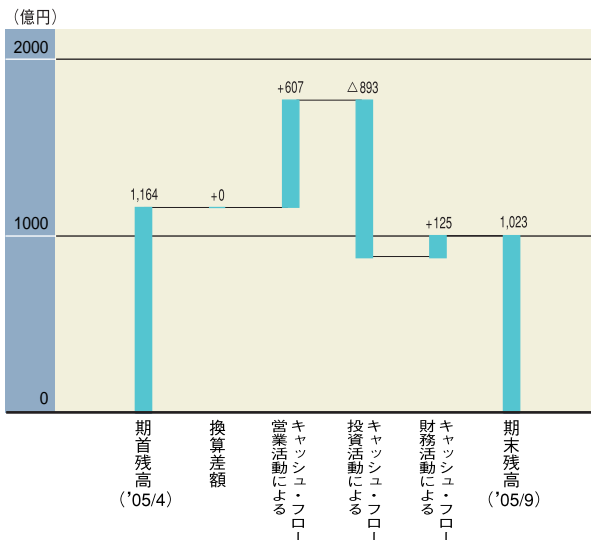
■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

・設備投資(支払ベース)	△976億円
・投資有価証券増減他	+83億円

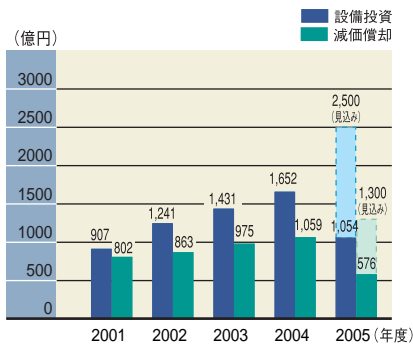
■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

・借入金増額	+165億円
・配当金支払	△39億円
・その他	△1億円

■ キャッシュ・フロー



■ 設備投資/減価償却



単独決算

■ 損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科 目	当中間期 (平17.4.1~17.9.30)	前期中間期 (平16.4.1~16.9.30)
売上高	344,325	312,961
売上原価	297,474	273,062
販売費及び一般管理費	29,907	25,884
営業利益	16,942	14,014
営業外収益	7,045	5,850
営業外費用	1,962	3,530
経常利益	22,025	16,334
特別損失	—	1,375
税引前中間(当期)純利益	22,025	14,959
法人税、住民税及び事業税	6,300	2,900
法人税等調整額	785	1,975
中間(当期)純利益	14,939	10,083
前期繰越利益	65,587	51,248
中間配当額	—	—
中間(当期)末処分利益	80,527	61,332

■ 中間配当について

2005年10月28日開催の取締役会において、2005年9月30日の最終の株主名簿(実質株主名簿を含む)に記載または記録された株主または登録質権者に対して行う中間配当につき、次のとおり決議いたしました。

1. 中間配当金……………1株につき13円
2. 支払請求権の効力発生日および支払開始日……………2005年11月25日

■ 貸借対照表の要旨

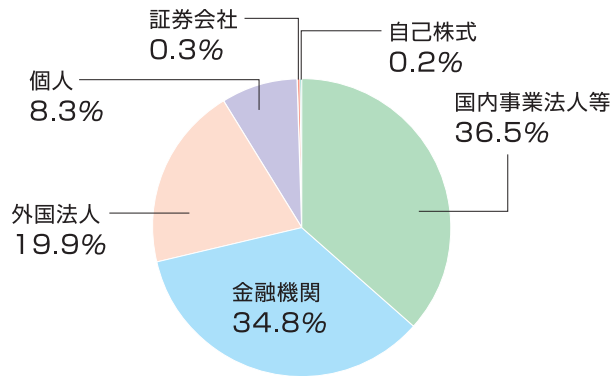
(単位:百万円)

科 目	当中間期 (平17.9.30現在)	前 期 (平17.3.31現在)	科 目	当中間期 (平17.9.30現在)	前 期 (平17.3.31現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	246,160	238,612	流動負債	158,856	160,494
現金及び預金	10,970	18,636	支払手形及び買掛金	90,370	86,517
受取手形及び売掛金	149,740	144,208	その他	68,485	73,976
有価証券	16,731	21,207	固定負債	245,573	192,507
たな卸資産	20,709	17,540	社債	25,000	25,000
その他	48,240	37,190	長期借入金	140,000	100,000
貸倒引当金	△ 231	△ 171	繰延税金負債	42,116	25,141
固定資産	563,280	482,190	退職給付引当金	36,897	37,085
有形固定資産	143,807	139,581	長期未払金	1,560	5,280
建物及び構築物	52,984	46,474	負 債 計	404,430	353,001
機械装置及び運搬具	48,031	45,688	(資本の部)		
その他	42,791	47,417	資本金	45,049	45,049
無形固定資産	3,540	3,248	資本剰余金	63,245	63,061
投資その他の資産	415,931	339,361	利益剰余金	207,009	196,432
投資有価証券	71,934	61,538	その他有価証券評価差額金	90,590	65,338
関係会社株式・出資金	272,213	235,134	自己株式	△ 884	△ 2,080
その他	71,906	42,762	資 本 計	405,010	367,801
貸倒引当金	△ 122	△ 74	合 計	809,440	720,802
合 計	809,440	720,802			

株式の状況 (2005年9月30日現在)

発行する株式の総数……………700,000 千株
 発行済株式の総数……………294,674 千株
 株主数……………13,433 名

株式の分布状況



大株主 (上位10名)

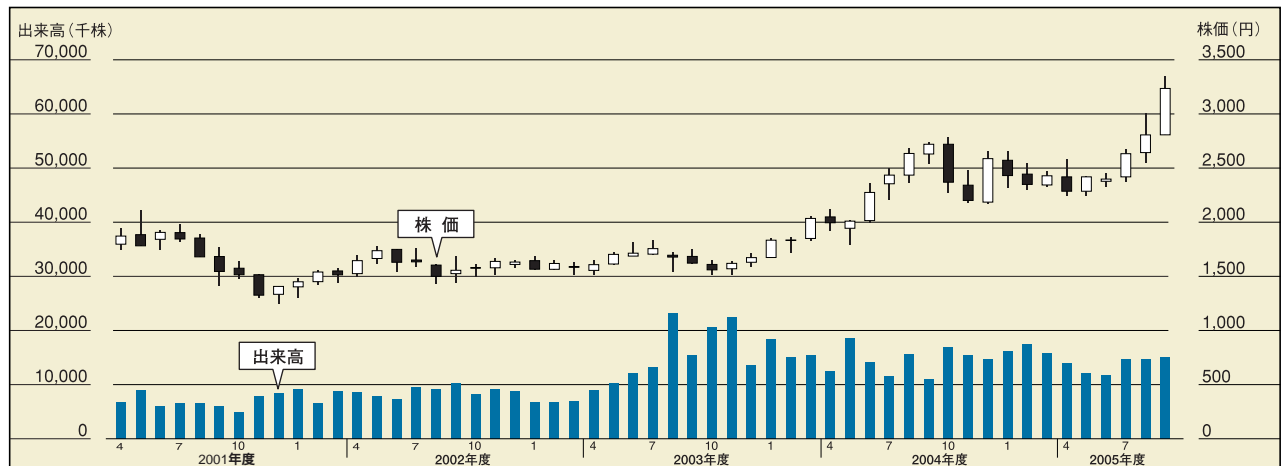
株主名	持株数(千株)	議決権比率 (%)
トヨタ自動車株式会社	65,558	23.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	22,207	7.8
株式会社豊田自動織機	19,658	6.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	18,035	6.3
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	9,401	3.3
資産管理サービス信託銀行株式会社	8,910	3.1
日本生命保険相互会社	7,773	2.7
アイシン開発株式会社	6,499	—
東和不動産株式会社	6,344	2.2
三井住友海上火災保険株式会社	5,902	2.0

一株当たり配当金の推移 ※ ()内は見込み

	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度
中間(円)	6.5	8.0	10.0	13.0
期末(円)	8.5	10.0	14.0	(13.0)
合計(円)	15.0	18.0	24.0	(26.0)

株価・出来高の推移

証券コード:7259 一単元の株式数:100株



会社概要

■会社概要 (2005年9月30日現在)

会社名	アイシン精機株式会社
本社所在地	〒448-8650 愛知県刈谷市朝日町2丁目1番地 TEL 0566-24-8441 (代表)
設立年月日	1949年6月1日
資本金	450億円
従業員数	単独 11,593人 連結 56,784人
連結対象会社	連結子会社 126社 (国内58社、海外68社) 持分法適用会社 13社 (国内10社、海外3社)

ホームページのご案内

<http://www.aisin.co.jp>

財務情報・決算広告などは「株主・投資家情報」のページをご覧ください。

また、2005年10月よりEメールによるIR情報発信サービス「アイシン精機ニュースメール」を開始しました。ご希望の方はアイシン精機ホームページ「株主・投資家情報」にアクセスしていただき、画面右上の「アイシン精機ニュースメール」申し込みページより、必要事項をご入力の上、ご登録ください。

みなさまのアクセスをお待ちしています。

■取締役および監査役 (2005年9月30日現在)

取締役会長	豊田 幹 司 郎	専務取締役	齋藤 千 久	取締役	森 治 男
取締役副会長	田中 資 康	専務取締役	奥 矩 雄	取締役	近藤 隆一 郎
取締役副会長	夏目 美 喜 雄	専務取締役	堀 場 正 樹	取締役	周 防 雅 弘
取締役社長	山内 康 仁	専務取締役	水野 玄 四 郎	取締役	千 賀 哲 郎
取締役副社長	林 稔	専務取締役	中 村 俊 一	常勤監査役	水野 清 史
取締役副社長	井上 宗 太	専務取締役	板 倉 伸 二	常勤監査役	権 田 銀 弘
取締役副社長	藤 森 文 雄	専務取締役	内 本 恒 男	監査役	豊田 章 一 郎
取締役副社長	川 田 武 司			監査役	水 谷 渺 行 代
				監査役	濱 田 道 代

■常務役員 (2005年9月30日現在)

山村 慎 一 郎	瀬川 儀 一	榎本 貴 志
名倉 敏 一	神尾 哲 樹	齋藤 雅 康
鈴木 光 幸	西村 淳 一	宇佐見 一 美
石山 正 二	藤江 直 文	三 矢 誠
森田 隆 史	島 貫 静 雄	水 島 寿 之
間 瀬 隆	辻 村 健 次	

株式についてのご案内

決 算 期	3月31日
定 時 株 主 総 会	6月
配当金支払い株主確定日	3月31日 なお、中間配当を行う場合は、9月30日
一 単 元 の 株 式 数	100株
証 券 コ ー ド	7259
名 義 書 換 代 理 人	三菱UFJ信託銀行株式会社
連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号
取 次 所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国支店 野村證券株式会社 全国本支店

株主インフォメーション

■ 配当金のお受け取りについて

今回お届けした郵便振替支払通知書による配当金のお受け取り期間は平成17年12月30日(金)までとなっております。郵便振替支払通知書をお持ちになって、お近くの郵便局でお早めにお受け取りください。

■ 株式手続きについて

住所変更、名義書換、単元未満株式の買取および買増請求、その他株式に関するお問い合わせは次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも承っております。

電話(通話料無料) 0120-232-711 (お問い合わせ:オペレーター対応)
0120-244-479 (音声自動応答:用紙のご請求専用)
ホームページ <http://www.tr.mufg.jp>

アイシン精機株式会社

〒448-8650 愛知県刈谷市朝日町2丁目1番地
電話(0566)24-8441(代表)



本紙は環境保護に配慮し、古紙配合率100%再生紙を用い、アメリカ大豆協会認定の「大豆油インキ」を使用して印刷されています。